



5年間の想いを胸に 全身全霊で挑んだ大舞台

東京2020オリンピック
バドミントン女子シングルス 日本代表

山口 茜選手



写真：AFP/アフロ

2大会連続準々決勝進出

7月23日から8月8日の17日間で行われた東京2020オリンピック。様々な競技で世界各国の選手らが競い合う中、勝山市出身の山口茜選手もバドミントン女子シングルスに出場し、世界各国の強豪を相手に熱い戦いを繰り広げました。リオデジャネイロオリンピックに続き、2大会連続の出場となった今大会。「今までの成長を見てもらう機会として、精一杯試合をして楽しみたいです」との想いを胸に試合に臨まれました。

予選リーグは2試合とも勝利し、決勝トーナメントへ進出。決勝トーナメントでは、1回戦を勝利し、続く準々決勝で惜しくも敗退となりました。

試合後には、悔し涙もみられた山口茜選手。「悔しい気持ちがたくさんありますが、たくさん応援、サポートをさせていただいたおかげで、自分らしく戦えることができたと思います」と試合を振り返っていました。

試合結果 予選リーグ(グループI)

山口茜選手	21	21
	18	3
	0	

M・シャハザド選手
(パキスタン)

山口茜選手

2	21	21
	18	9
	0	

K・ギルモア選手
(イギリス)

決勝トーナメント 1回戦

山口茜選手

2	21	21
	18	17
	0	

キム・ガウン選手
(韓国)

準々決勝

山口茜選手

0	20	13
	22	21
	2	

P・V・シンドウ選手
(インド)

第2ゲームは、驚異の粘り・一時逆転・息をのむ長いラリーなど手に汗握る試合に



山口茜選手 Twitterより

市民の皆さまと スポーツをする子どもたちへ 山口茜選手からの メッセージ

オリンピックを含め、日頃からたくさんの方の応援をいただきありがとうございます。ありがとうございます。スポーツを通して明るい話題、明るい社会を築いていければと思います。

小中高生の皆さんにもスポーツをたくさん楽しんでほしいと思いますし、いろいろなことを経験して、共に成長していければと思います。

今後については、「明確な目標はまだ決まっていますが、選手としても人としても成長していければと思います」と述べていました。



写真：スポニチ/アフロ

profile

平成9年6月6日生まれ / 身長156cm / 平泉寺小学校 ▶ 勝山南部中学校 ▶ 勝山高校 ▶ 再春館製薬所、世界ランキング5位(大会時点)

主な成績 ▶ 平成25年ヨネックスオープンジャパン優勝/平成28年リオデジャネイロオリンピック5位/平成29年ワールドツアーファイナル優勝/平成30年世界ランキング1位 など



質問してみました

Q好きな場所は？

平泉寺白山神社 など

Qリラックス方法は？

漫画や小説を読む
ナノブロックを作る

山口茜選手制作
Twitterより

